



# 王様の食卓

14 April  
– 19 May  
2026

ベトナム

一皿の料理に時代の  
美意識が反映される

ベトナム伝統レシピ

Dàm Thái Sơn ダム タイ ソン  
Phạm Hoàng Đạt ファム ホアン ダット  
Ngô Thị Quỳnh Nhi ゴティ クイン ニー

ハンガリー

ハンガリー王国  
の贅沢がAIで蘇る

15～16世紀

ルネサンス文化の積極的導入

Nagy Csilla ナジ チッラ

中国

権力者は何を食を  
べていたか?

清国とモンゴル

向謙 Xiang Qian コウ ケン  
王文汉 Wang Wenhan オウ ブンカン  
李欣悦 Li Xinyue リ キンエツ

# TUM

帝京大学総合博物館

外国語学部  
国際日本学科  
「食の社会学」

准教授: 戸川 律子

# 王様の食卓

## 展示会によせて

国際日本学科の3年生以上を対象とした科目「食の社会学（戸川）」では、フランス味覚教育をベースに、他者と自分との「味覚の違い」を学びます。その上で、食の嗜好は、実は、文化や社会の影響が大きいことを理解するためのグループワークを行います。

本展示会では、「食の社会学」を受講した学生が、各グループの対象とする国の王様や貴族の食の記録や食材、調理法を現地で調査し、その結果を通じて、当時の社会構造、政治、経済、そして健康観などを歴史的に考察した学習成果を披露します。国際日本学科は国際色豊かな学科です。比較対象をもつ学科の特色が活かされ、自国を相対化し、客観的に評価しつつ、国や地域を理解しようとする努力が見られます。本展示会を通じて、時代の営みと現在への影響を感じていただければ幸いです。最後に、本企画展示にあたりお世話になったすべての方々に、改めてここで御礼を申し上げます。

帝京大学 外国語学部 国際日本学科 准教授 戸川 律子



### ベトナム

## 一皿の料理に時代の美意識が反映される

ベトナム伝統レシピ

Đàm Thái Sơn ダム タイソン  
Phạm Hoàng Đạt ファム ホァン ダット  
Ngô Thị Quỳnh Nhi ゴティ クイン ニー

本展示では、ベトナム王朝の食文化を象徴する三つの料理：宮廷の蒸し魚料理（アンヴー魚）、コム・ラン・ヴォン（もち米）、フエット・イエン（血燕）を通して、「王様の食卓」というテーマを考察する。

アンヴー魚の蒸し料理は、その希少性と素材の旨味を最大限に引き出す調理法により、宮廷料理として重視されてきた。またコム・ラン・ヴォンはハノイの秋を代表する繊細な伝統食であり、その上品な香りと味わいから王様への献上品として発展した。さらにフエット・イエンは、グエン朝時代に王宮専用とされた極めて希少な高級食材であり、権威と富の象徴でもあった。

これら三つの料理は、それぞれ異なる背景を持ちながらも、自然の恵みを最大限に活かし、王様が食するにふさわしい価値へと昇華されたという共通点をもつ。本展示を通じて、歴史と食がどのように結びつき、王権や文化的価値を形成してきたのかを明らかにする。

### ハンガリー

## ハンガリー王国の贅沢がAIで蘇る

15～16世紀  
ルネサンス文化の積極的導入

Nagy Csilla ナジ チッラ

本展示では、15～16世紀のハンガリーを題材とする。その理由は、まず自身がハンガリー出身のため最も理解が深いためである。加えて、マーチャーシュ王は多くの伝説に彩られた最も親しまれる王である。イタリア・ルネサンス文化を積極的に導入し、ハンガリーを東欧における文化・学術の中心へと発展させた治世は、文化的にも最盛期を迎えた。

本展示では歴史背景に触れつつ、特に食器やレシピ、食材に焦点を当てた。とりわけ食材は、宮廷のみならず当時のハンガリーの社会全体を映し出す重要な要素である。さらに、近年のAI技術の急速な発展により、これまで不可能であった多くのことが実現可能となった。古い書物に記されたレシピは、綿密に設計されたプロンプトを用いることで、画像生成技術を通して視覚的に再現することを試みた。生成された画像が可能な限り当時の姿に近づくよう工夫している。

### 中国

## 権力者は何を食べていたか？

清国とモンゴル

向謙 Xiang Qian コウケン  
王文汉 Wang Wenhan オウ ブンカン  
李欣悦 Li Xinyue リキンエツ

近年日本では、中国ドラマ「甄嬛伝」や日本アニメ「薬屋のひとりごと」など、中国宮廷をテーマとした作品への関心が高まっている。こうした宮廷ブームにおいて描かれる食は、文化の魅力を伝える重要な要素となっているのではないだろうか。中国には「民以食为天」という言葉がある。食は人々の生活の中心であり、そこに歴史や文化、民族の特徴が色濃く反映されている。

本展示では、清国とモンゴルの食文化に焦点を当て、遊牧文化が宮廷料理と交錯し、食材の調達や新たな調理法がどのような宮廷文化に取り入れられていったのか、その社会的背景を紹介することを目的としている。本展示を入り口として、当時の人々の生活を具体的に想像し、映像メディアから現実の歴史や文化へと視野を広げ、より深く中国古代の魅力を感じてほしい。